

# 研究計画の概要

唐津市立東唐津小学校

## 1 研究主題名

主体的・協働的に学び、持続可能な未来を創る子どもの育成  
～SDGsの視点で東唐津の環境を見つめて～

## 2 研究主題設定の趣旨

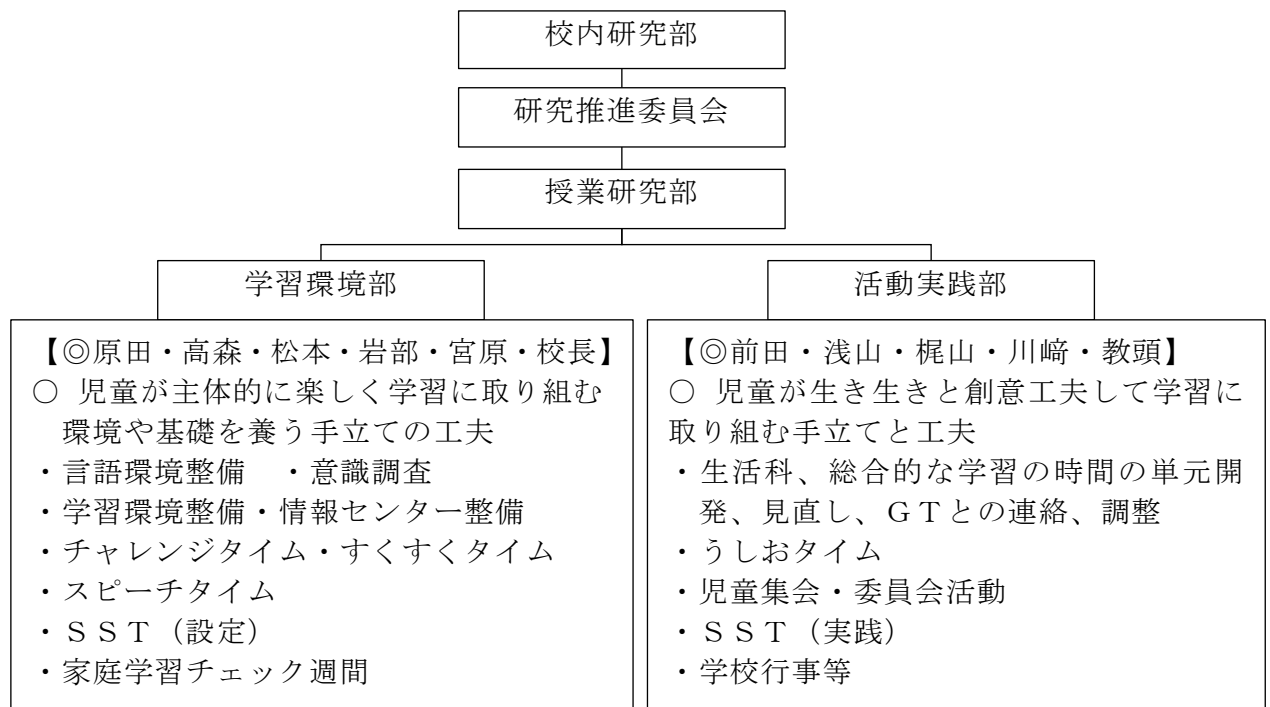
本校では、「みんなと確かに伸びる子どもの育成」という教育目標を掲げ、目指す児童像を「ひびき合う挨拶」「がんばる勉強・読書」「しっかり仕事」「コミュニケーション」という合い言葉で、育成に取り組んでいる。

令和2年度、3年度は、「生き生きと主体的に学びに向かう児童の育成」を目指し、児童が自分の考えを表現することへの課題を起点に、国語科を中心に「書く活動」の指導方法の工夫、改善と学びに向かう集団作りの工夫の両面から研究、実践に取り組んできた。これにより、児童が目的意識、課題意識をもち、生きて働くような言語能力が醸成できてきた。また、令和3年度の学習状況調査では、国語科、算数科における自分の考えを論述する記述式の問題において、県の正答率を概ね上回る結果を得るなど一定の成果をみることもできた。この成果を他教科・領域や学校生活に広げ、児童の更なる主体的な学びへとつなげていきたい。

一方、本校が玄界灘に面し、虹の松原や東の浜に接する特徴をもち、児童に故郷の良さと環境問題について学ばせるため、令和3年度から総合的な学習を中心に海洋教育の実践開発も行っている。地域やゲストティーチャーを活用し、「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」のSDGsの持続可能な開発目標の視点で様々な体験活動や調査活動に取り組んできたが、昨年度はコロナ禍の影響もあり十分な活動が行えたとは言い難い。

そこで、今年度からは、「児童が自分の考えを表現する力を養う」指導を継続しつつ、児童が実社会の中において身に付けた基礎学力を活用する場として、東唐津の環境を取り上げ、単元開発、授業実践に取り組んでいく。これにより、児童は、更に目的意識、課題意識をもって学びに向き合い、友達や教職員、家庭、地域の方などと協働して学んでいこうとするであろう。これらのことが、児童が「志」を確立し自己有用感を高めることにつながると考え、本主題を設定した。

## 3 研究組織及び各会・各部の活動内容



(1) 研究推進委員会（校長、教頭、教務、研究主任、研究副主任の5名）

○ 毎月 第1月曜日 16:15～（於 校長室）

(2) 授業研究部について

○生活科グループ、総合的な学習グループによる授業研究会及び環境整備

- ・講師を招聘しての全体研修会 2回
- ・グループ研修会 2回

○学習意識調査や各種調査の実施、分析、課題の洗い出しと手立ての研究

(3) 学習環境部について

○児童が主体的に楽しく学習に取り組むための手立てについて立案・分析・評価を行う。

- ・SDGsに関連する情報を掲示するコーナーの設置
- ・課題解決に必要なスキルを既存の基礎学力定着の取組に組み込む計画、実践

(4) 活動実践部について

○児童が生き生きと創意工夫して学習に取り組むための手立てについて立案・分析・評価を行う。

- ・既存の学習課題、単元構成の見直し
- ・G Tや地域の方など学校外の専門家との連携
- ・単元全体の学習過程、身に着けさせたい力と単元の目標、評価規準の整理

#### 4 研究内容

(1) 主体的・協働的な学びにするための学習過程の充実

(生活科・総合的な学習の時間の単元づくり)

(2) 生活科・総合的な学習の時間を軸にした教科等横断的なカリキュラムづくり

(3) 基盤となる集団づくり

#### 6 期待される成果

総合的な学習の時間、生活科において、身に付けた基礎学力を生かし、目的意識、課題意識をもって東唐津の環境をみつめることができる単元、学習計画を開発し、友達や教職員、家庭、地域の方などと協働して課題解決に向かわせることで、地域や自己の未来を見つめ、自己有用感を高める児童が育成される。